

☆ **Pen-S** Dスイコー F2.8 $f=30\text{ mm}$

Olympus
Pen



• • *Pen* • • • • •

オリンパス ペン・ペン S

気軽なパチパチ写せる、それも特別のフィルムは不要で、どこにでも売っている35ミリフィルムが使える、しかも必要によっては大倍率の引伸しもできる高性能レンズをもった本格的な超小型カメラ オリンパスペンは、そうした意味で、極めて広範囲の活躍を約束する理想のカメラです。ポケットにもハンドバッグにも、スッポリと入り何よりも大げさでない、さりげなさの魅力です。どうぞ、オリンパスペンを何時もそっとお伴にしてお出掛け下さい。オリンパスペンにはF3.5のレンズがついたものとF2.8のレンズがついたスーパータイプ ペン-Sの二種類があります。レンズとシャッター以外は全く同じですから一緒に説明してゆきます。

2



主 な 性 能

レンズ(ペン) Dゾイコー F 3.5 f=28^{mm}
 (ペンS) Dゾイコー F 2.8 f=30^{mm}
 シャッター(ペン) コバル#000 B、 $\frac{1}{50}$ 、 $\frac{1}{60}$ 、 $\frac{1}{90}$
 $\frac{1}{100}$ (秒) X接点
 (ペンS) コバル#000 B、 $\frac{1}{6}$ 、 $\frac{1}{7.5}$ 、 $\frac{1}{10}$
 $\frac{1}{16}$ 、 $\frac{1}{25}$ 、 $\frac{1}{30}$ (秒) X接点
 絞り(ペン) 3.5、4、5.6、8、11、16、22
 (ペンS) 2.8、4、5.6、8、11、16、22
 ファインダー 光棒ファインダー
 焦点調節 回転ヘリコイド
 距離目盛 0.6、0.7、0.8、0.9、1、
 1.2、1.5、2、3、5、10、 ∞ (m)

フィルム捲上

フィルム捲戻し

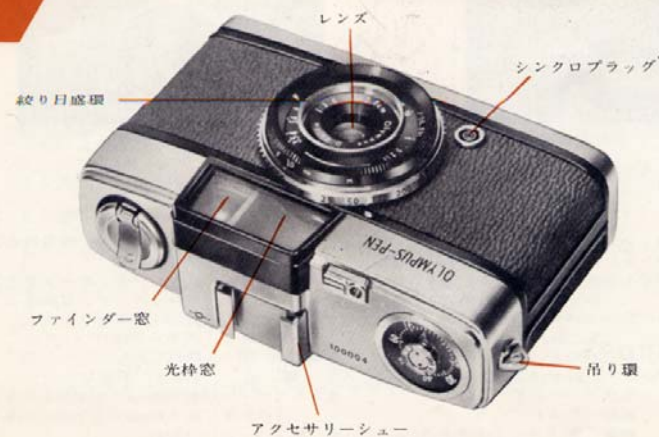
三脚孔

大きさ (ペン
(ペン)

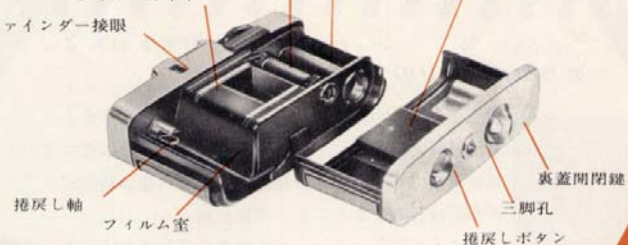
重量 (ペン)

2m 近接、5m 一般常焦点クリック
ストップ
リヤ・ワインディング式、セルフ
フッキング、自動捲上、残数
式フィルムカウンター
クランク式
取外し式
JIS 十⁺ 小ねじ
高さ 68mm × 巾 108mm × 厚さ 40mm
高さ 68mm × 巾 108mm × 厚さ 44mm
350gr.
400gr.

3

[illegible]

4



Pen

5

6



Pen

オリンパスペンのフィルムサイズ

オリンパスペンには、35ミリフィルムがそのまま使えます。

撮影画面は、24×18ミリでライカサイズの丁度半分になっています。

従って36枚どりのフィルムをお買いになると72枚、20枚どりでカラーフィルムが40枚写せることになります。

(注)カラースライド用のマウントが市販されておりますので、普通のプロジェクター(投影器)で充分カラースライドを楽しめます。



Pen

レンズは4枚構成のDゾイコー

オリンパスペンのような超小型カメラになりますと、どうしてもフィルムサイズが小さくなります。ですからこれを大きく引伸す為には、高解像力の優れたレンズが必要です。

ペンには、4枚構成のテッサータイプ、Dゾイコー-F 3.5 f=28mm(ペン用)とDゾイコー-F 2.8 f=30mm(ペンS用)が、特別に設計されました。

f=(焦点距離)28mmはライカサイズに換算しますと42mmになります。



Pen

フィルムの入れ方

- ① 先づ裏蓋をとり外します。
写真のように、カメラ底部の開閉鍵をおこし、矢印の方向に止るまで廻します。次にカメラを左手にもち、左手の親指で裏蓋を押し下げながら、右手で、すっと裏蓋を引き下げますと楽にはずれます。
- ② 次にフィルムを写真のように右手に持ち、カメラを左手に持って、捲取りスプールの溝にフィルムの先を充分差し込みます。
スプールは回転しますから、指先で廻して溝を差し込み易い位置(大体真上)に直しておくとなし込みます。
- ③ バトロネまたはマガジンを、フィルム室に収めます。
その際、捲戻し軸の溝にバトロネまたはマガジンの溝がカッチリはまるようにします。
次に捲戻しクランクを少し捲戻し方向に廻し、スプロケットの歯にフィルムの両側の孔がかかるようにします。
この状態で、さきと逆の方法で裏蓋を閉じます。



7

8

こゝで念のため、捲戻しクランクを捲戻し方向に廻してフィルムのタルミをとり、今度は捲上ギヤを止るまで廻してシャッターを切る。これを2度くりかえして下さい。その時捲戻しクランクが逆回転すればフィルムが正しく捲上されていることになります。

④ フィルム枚数計を合わせます。

親指の腹で、フィルム枚数計上のツマミを抑え、写真の矢印の方向に廻し▲の指標を装填したフィルムの長さに合わせて。(例えば36枚よりは72) 次のフィルム捲上で、第1回目の撮影ができます。

フィルム枚数計は残数式で、残っているフィルムの枚数を示します。

(ご注意)

直射光線の下でフィルムを入れることはやめましょう。
カメラに入れたフィルムのASA感度はよく覚えておきましょう。



9

Pen

セルフコッキングシステムとは

捲上ギヤを止るまで廻しますと、フィルムが1枚分捲上されると同時に、シャッターがかかります。

この方式をセルフコッキング・システムといいます。

また、捲上ギヤを止るまで廻転させないとシャッターは切れません。1度シャッターを切った後で、フィルムを捲上げずにシャッターを2度切ことはできません。

これを二重露出防止装置といいます。



10

絞りの調節

絞りは光の入る量を決定し、ピントの範囲を左右する大切な装置です。

絞り目盛環は、距離環と一緒に廻りますので、写真のように距離環を抑えて廻転させ、白の▲に合わせます。

絞り目盛は1段数字が増す毎に光量が半分となります。撮影の際には、この絞りとしutterスピードとの関係を充分考えて下さい。

(3.5から4に変える場合は光量は1/2減となります。)

シャッター スピードの調節

スピード環を廻転して、必要な速度目盛を中央の黒点に合わせます。

各目盛はカチッと止るクリックストップになっています。

Bはバルブ露出のことで、上部の黒点に合わせてシャッターを切ると、シャッター羽根が開き放すと閉じます。これは1秒以上の露出に使います。

11

Pen

焦点調節 (ピント合わせ)

距離目盛はメートルで表示され、60cmの至近距離から∞(無限遠)まで刻まれています。

ペンの焦点調節は、シングルヘリコイドでレンズ全体が廻転しながら進退しますのでピントは何時も最高の性能を発揮します。

距離の測定は目測か距離計を使いますが、ペンのレンズは焦点距離が短い為ピントが深く、極度の近接撮影以外は、固定焦点をお使いになれば、ピントの心配はいりません。

固定焦点

ペンの距離目盛には、2mと5mが赤字でクリックストップになっています。

2mが近接撮影、5mが一般撮影の固定焦点で、共に絞りを5.6以上に絞って使います。

例えば5mに合わせて5.6に絞りますと2.45mから無限遠まで全部ピントが合います。

(20、21頁参照)



12

光棒ファインダー

次にファインダーを覗いてみましょう。
ペンのファインダーは光棒ファインダーが採用されています。

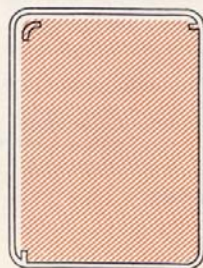
光棒の特長は写したいものの構図が簡単に決められること、ファインダーを覗く眼の位置が少しずれても写角に誤りがないことです。

撮影の場合は、写したい範囲が光棒の中に一杯に入るようにして下さい。

また至近距離で撮影する場合にはバラックス（視差—レンズとファインダーの位置が異なるために生ずる視野の誤差）を補正するため光棒の図の斜線の範囲に写したいものが入るようにして下さい。



光棒窓 ファインダー窓



撮影の時の注意

あとはシャッターを切るだけです、次の点に注意して下さい。

- ① 小型カメラは、手ぶれを特に注意して下さい。その為にはしっかり構えることです。
- ② ペンの鏡胴は、非常に低くなっています。その上レンズの写角が広いので、構えた時に指がレンズにかぶらないよう注意して下さい。皮ケースをつけて撮影する時も同様です。
- ③ 逆光（光源に向って）で撮影する時は、レンズに光線が直に入らないよう注意して下さい。この場合は専用フードを使います。
- ④ フィルムの種類、光線の強い時、紫外線の多い場所、表現方法などいろいろな条件によっては、それらに合ったフィルターを使うことも大切です。紫外線防止に使うUVフィルターはレンズ保護用にもなります。

一年間の標準露出表

SS (ASA 100) フィルム使用

被写体 (晴天昼前後 2時間位)	広い風景	屋外人物	日陰人物	スナッフ ブツ	近動植物	海浜人物	広い雪景
春・秋	F 16 _{1/125}	F 11 _{1/125}	F 5.6~11 _{1/125}	F 11 _{1/125}	F 11 _{1/125}	F 11 _{1/125}	F 22 _{1/125}
夏	F 22 _{1/125}	F 16 _{1/125}	F 8~11 _{1/125}	F 22 _{1/125}	F 16 _{1/125}	F 22 _{1/125}	F 22 _{1/125}
冬	F 11 _{1/125}	F 8 _{1/125}	F 5.6 _{1/125}	F 8 _{1/125}	F 8 _{1/125}	F 11 _{1/125}	F 11 _{1/125}

上記の露出表は大体の標準ですから被写体の明暗、朝夕等の条件に応じて変更して下さい。

朝・夕・淡曇りの場合は2倍に、暗曇りは3〜4倍に、SSS(ASA 200)の場合は1/2倍の露出にします。

UVフィルター使用の場合は露出は変らずY2フィルター使用の場合は2倍になります。

●露出を2倍にする時は絞りを1目盛開くか、シャッタースピードを半分にします。

これで撮影完了です。
フィルムを捲戻します。

捲戻しクランクを起します。

次にカメラ底部の捲戻しボタンを押し上げたまま、クランクを写真の矢印の方向に廻します。フィルムを捲戻している間は、クランクが重く感じられますが、フィルムが捲取られて、捲取りスプールからフィルムの先端が外れると、急に軽くなります。

この時がフィルムが全部捲戻された時です。カメラから取り出したフィルムに直射光線が当たらないよう気をつけて下さい。



特殊な撮影——フラッシュ撮影

シャッタースピードの選び方

- (1) ストロボライト使用の場合
シャッタースピードはどれでも結構です。
- (2) Fクラスのバルブ使用の場合シャッター
スピードは $\frac{1}{60}$ ～ $\frac{1}{250}$ の中から選んで下さい。
- (3) Mクラスのバルブ使用の場合
シャッタースピードは $\frac{1}{60}$ ～ $\frac{1}{250}$ の中から
選んで下さい。

絞りの選び方

ストロボライト及びバルブ指定のガイドナンバーを被写体迄の距離で割ってその値に絞りをセットして下さい。

例えばASA100のフィルム、シャッター
スピード $\frac{1}{60}$ 、距離5m、バルブのガイド
ナンバー40なら $\frac{40}{5}$ 即ち8ですから絞り8
を使用して下さい。



Dズイコーと被写界深度について

固定焦点の項で一すふれましたように、レンズの焦点距離の深いということが、どれ程便利であるかを簡単にご説明いたしましょう。

例えば、カメラから違った距離にA・B・C3人の人がいたとします。

Aにピントを合わせるとB・Cはボケ、Bにピントを合わせるとA・Cはボケル筈です。

しかしこれは理論上のことで、実際にはボケにも程度がありますから、実用上ボケているとは見られないボケを許しますと、この3人の内、Bにピントを合わせた時、AもCもボケないという範囲が考えられます。

この時、BからAまでを前方の深度、BからCまでを後方の深度といいます。

この被写界深度は、レンズの焦点距離や絞りによっても変わりますので、この範囲が広いことを深度が深いと呼んでいます。

一般に焦点距離が短ければ短い程、絞れば絞る程この深度は深くなります。

次の表はオリンパスペンの絞りを5.6にした場合の被写界深度を表にしたものです。

オリンパス ペン 焦点深度 (Dズイコー F3.5 f=28mm)

(許容するボケの直径を $\frac{d}{1000}$ とした場合 d=画面の対角線長)

距離目盛		焦点を合せた距離 (メートル)											
絞	リ	0.6	0.7	0.8	0.9	1	1.2	1.5	2	3	5	10	∞
5.6		0.54	0.62	0.69	0.77	0.84	0.97	1.15	1.42	1.86	2.45	3.23	4.72
		0.67	0.80	0.94	1.08	1.23	1.57	2.14	3.38	8.02	∞	∞	∞

これで5mのところをご覧下さい。

5.6に絞った場合2.45mから無限遠までピントが合ってしまう。

そしてこのレンズの特性を応用したのが固定焦点というわけで、5mと絞り5.6でおおよそあらゆる撮影が可能であり、一々ピントの苦勞をする必要の全くないことがお分りになると思います。

更にこのことは、スナップなど速写性を必要とする撮影にすごく都合がいいことです。

貴重な瞬間を見逃さずに、キャッチすることが良い写真をとる秘けつなのであります。

オリンパスペン焦点深度 (DズイコーF3.5 f=28mm)

(許容するボケの直径を $\frac{d}{1,000}$ とした場合d=画面の対角線長)

絞り		焦点を合せた距離 (メートル)											
		0.6	0.7	0.8	0.9	1	1.2	1.5	2	3	5	10	∞
3.5	0.56より	0.64より	0.73より	0.81より	0.89より	1.04より	1.26より	1.59より	2.16より	3.03より	4.32より	7.52より	
	0.64まで	0.76まで	0.88まで	1.00まで	1.13まで	1.40まで	1.84まで	2.68まで	4.91まで	14.69まで	∞まで	∞まで	
4	0.55	0.64	0.72	0.80	0.88	1.02	1.23	1.55	2.08	2.87	3.99	6.56	
	0.64	0.76	0.89	1.02	1.15	1.44	1.90	2.82	5.41	20.38	∞	∞	
5.6	0.54	0.62	0.69	0.77	0.84	0.97	1.15	1.42	1.86	2.45	3.23	4.72	
	0.67	0.80	0.94	1.08	1.23	1.57	2.14	3.38	8.02	∞	∞	∞	
8	0.52	0.59	0.66	0.72	0.78	0.90	1.05	1.27	1.60	2.02	2.51	3.32	
	0.70	0.85	1.01	1.19	1.38	1.81	2.64	4.85	29.85	∞	∞	∞	
11	0.49	0.56	0.62	0.67	0.73	0.82	0.95	1.12	1.37	1.66	1.97	2.43	
	0.75	0.93	1.13	1.36	1.61	2.25	3.73	10.74	∞	∞	∞	∞	
16	0.46	0.51	0.56	0.61	0.65	0.73	0.82	0.94	1.10	1.28	1.45	1.69	
	0.86	1.11	1.41	1.79	2.28	3.86	12.45	∞	∞	∞	∞	∞	
22	0.43	0.47	0.51	0.55	0.58	0.64	0.70	0.79	0.90	1.01	1.11	1.24	
	1.05	1.45	2.03	2.95	4.62	30.37	∞	∞	∞	∞	∞	∞	

Pen

オリンパスペンS焦点深度 (D ズイコフ2.8 f = 30mm)
(許容するボケの直径を $\frac{d}{1000}$ とした場合 d = 画面の対角線長)

		焦点を合わせた距離 (メートル)											
		0.6	0.7	0.8	0.9	1	1.2	1.5	2	3	5	10	∞
2.8	0.57より	0.66より	0.75より	0.83より	0.92より	1.09より	1.32より	1.70より	2.36より	3.44より	5.21より	10.77より	
	0.62まで	0.74まで	0.85まで	0.97まで	1.09まで	1.33まで	1.72まで	2.42まで	4.11まで	9.22まで	18.49まで	∞まで	
4	0.56	0.65	0.73	0.81	0.89	1.05	1.26	1.60	2.17	3.03	4.33	7.56	
	0.64	0.75	0.88	1.00	1.13	1.40	1.84	2.67	4.89	14.51	∞	∞	
5.6	0.55	0.63	0.71	0.78	0.86	1.00	1.19	1.48	1.95	2.63	3.54	5.42	
	0.65	0.78	0.91	1.05	1.19	1.50	2.02	3.09	6.56	63.03	∞	∞	
8	0.53	0.60	0.67	0.74	0.81	0.93	1.10	1.33	1.70	2.19	2.78	3.81	
	0.68	0.83	0.98	1.14	1.31	1.69	2.39	4.07	13.63	∞	∞	∞	
11	0.51	0.57	0.64	0.70	0.76	0.86	1.00	1.19	1.47	1.81	2.20	2.79	
	0.73	0.89	1.07	1.27	1.49	2.01	3.10	6.76	∞	∞	∞	∞	
16	0.48	0.53	0.59	0.64	0.68	0.77	0.87	1.01	1.20	1.42	1.63	1.94	
	0.81	1.02	1.27	1.57	1.93	2.95	6.24	∞	∞	∞	∞	∞	
22	0.44	0.49	0.54	0.58	0.61	0.68	0.76	0.86	0.99	1.13	1.26	1.42	
	0.94	1.26	1.67	2.23	3.07	6.95	∞	∞	∞	∞	∞	∞	

21

Pen

専用付属品



■ペンスライド
プロジェクター
¥ 5,000



■ペン・アップ
デラックス
¥ 3,000



■ペンフラッシュ
¥ 950



■ペン・カラー
スライドマウント
(40枚入)
¥ 160



■ペンフード
¥ 160



■フィルター
Y 2 ¥ 300
U V ¥ 300
スカイライト ¥ 300



■インスペクト
ビューア
¥ 500



■ソフトケース
¥ 800
■ハードケース
¥ 1,000

22

Pen

取扱上のご注意

- ① レリーズボタンは静かに押して下さい。手ぶれの写真はいただけません。
- ② 撮影時以外は、常にレンズキャップかUVフィルターを被せて下さい。
- ③ カメラには、ホコリと湿気が大敵です。
- ④ レンズに指紋をつけぬこと。誤ってつけた時は、すぐ清潔なノリのついていない木綿布で拭いて下さい。
そのまゝにしておくと、とれなくなります。
- ⑤ レンズに糸状のカビが発生したら、オリンパスのサービスステーションにお持ち下さい。
すぐお掃除いたします。

オリンパスカメラクラブの御案内

オリンパスカメラ御愛用の方々の集いとしてオリンパスカメラクラブがあります。美しい雑誌 オリンパス フォトグラフィーを発行し、皆様の写真やお便りを中心に写真に関する興味ある記事を集めています。
盛大なオリンパスコンテスト、作品の通信指導と親切な質疑応答、カメラの当る抽選等々の特典を設けて、皆様のご入会をお待ちしております。
オリンパスカメラクラブ事務局 東京都千代田区神田小川町3の7 東京事務所

23

Olympus
Pen

オリンパス サービスステーション

サービス・ステーション

東京	東京都渋谷区幡ヶ谷2の43	オリンパス光学工業(株)本社内	電話(371)5151
	東京都千代田区神田小川町3の7	東京事務所	電話(201)9111
	東京都千代田区神田錦町1の3	オリンパス商事株式会社東京営業所内	電話(291)1721
名古屋	名古屋市中区南伊勢町1の8	オリンパス商事株式会社名古屋営業所内	電話(24)5962
大阪	大阪市南区安堂寺橋通り2の32	オリンパス商事株式会社大阪支店内	電話(261)6071
九州	福岡市博多区223	オリンパス商事株式会社九州営業所内	電話(76)4466
北海道	札幌市北3条西4丁目	日本生命ビル オリンパス商業株式会社札幌営業所内	電話(5)3325
北陸	金沢市石川町50	オリンパス商事株式会社金沢営業所内	電話(3)6225
広島	広島市東区南5	オリンパス商事株式会社広島出張所内	電話(21)5782
仙台	仙台市名取町91	駅前第一ビル オリンパス商事株式会社仙台営業所内	電話(25)4311
横浜	横浜市神奈川区民権16番地2ビル	オリンパス商事株式会社横浜事務所	電話(48)4021

、オリンパス光学工業株式会社

39. 4. 16. 11